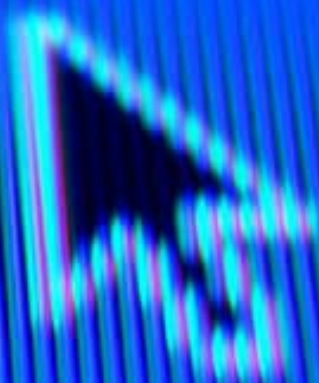


平成17年度 第3四半期決算 Conference Call



平成18年2月6日
塩野義製薬株式会社



■	平成17年度 第3四半期決算の概要	ページ
■	経営成績	2
■	財政状態及びキャッシュ・フローの状況	3
■	財政状態の主なポイント	4
■	セグメント別売上高	5
■	損益計算書概要	6
■	経営成績の主なポイント	7
■	四半期推移	8
■	平成17年度 業績予測	
■	業績予測	9
■	セグメント別売上高予測	10
■	営業利益予測	11
■	パイプライン	
■	パイプラインの進捗状況(05年11月以降)	12
■	Purdue社との共同研究/共同販売契約締結	13



平成17年度 第3四半期決算：経営成績（連結・単体）

(単位: 億円)

< 連結 >

	17年4-12月 実績	16年4-12月 実績	対前年同期 UP率%
売上高	1,518	1,518	0.1
営業利益	245	226	8.3
経常利益	251	220	14.1
当期純利益	209	151	37.9

< 単体 >

売上高	1,405	1,375	2.2
営業利益	215	193	11.7
経常利益	236	199	18.8
当期純利益	242	139	73.6



平成17年度 第3四半期決算：財政状態及びキャッシュ・フローの状況(連結)

(単位:億円)

< 財政状態 >

	17年12月期 実績	17年3月期 実績	増減
総資産	4,172	3,969	203
株主資本	3,336	2,998	338
株主資本比率	80.0%	75.5%	+4.5%
1株当り株主資本	979円56銭	879円79銭	99円77銭

< キャッシュ・フローの状況 >

	17年4-12月 実績	16年4-12月 実績	増減
営業活動によるC/F	82	160	78
投資活動によるC/F	32	36	68
財務活動によるC/F	246	42	204
現金等期末残高	829	769	-



平成17年度 第3四半期決算：財政状態の主なポイント（連結）

(単位:億円)

■ 資産の増加	+ 203
■ 社債の償還(17年5月)による現預金の減少	200
■ 時価上昇による投資有価証券の評価増	+ 273
■ カプセル事業連結除外による資産減少	60
■ 国債購入(当期純利益等の余資運用)	+ 200
■ 負債の減少	136
■ 社債償還	200
■ カプセル事業連結除外による負債減少	40
■ 投資有価証券の評価増にかかる繰延税金負債	+ 107
■ 株主資本の増加	+ 338
■ 当期純利益による増加	+ 209
■ 投資有価証券の評価増	+ 165
■ 配当金支払・為替換算調整勘定等	37



平成17年度 第3四半期決算：セグメント別売上高（連結）

	17年4-12月 実績	16年4-12月 実績	(単位：億円) 対前年同期 UP率%
医療用医薬品	1,292	1,285	0.6
フロモックス	259	251	2.9
フルマリン	131	137	4.4
塩酸バンコマイシン	126	127	0.7
イムネース	86	83	4.0
クラリチン	52	47	11.2
オキシコンチン	34	22	52.7
MSコンチン	29	47	38.4
フィニバックス	4	-	-
アベロックス	16	-	-
一般用医薬品	51	50	0.7
診断薬	26	27	2.9
工業所有権等使用料収入	65	39	65.8
クレストール	54	31	71.3
カプセル	61	89	31.9
不動産賃貸・その他	25	28	12.9
合計	1,518	1,518	0.1

医療用医薬品の製品別売上高は単体売上高



平成17年度 第3四半期決算：損益計算書概要（連結）

	17年4-12月 実績	16年4-12月 実績	対前年同期 UP率%
売上高 (ロイヤルティ)	1,518 (65)	1,518 (39)	0.1 (5.9)
	35.5 (37.1)	37.7 (38.7)	
売上原価	539	571	5.6
売上総利益	979	946	3.5
	48.3	47.4	
販売費・一般管理費	733	719	1.9
販売・管理費	499	486	2.6
研究開発費	233	232	0.6
	16.2	14.9	
営業利益	245	226	8.3
営業外損益	6	6	
	16.6	14.5	
経常利益	251	220	14.1
特別損益	105	33	
税金等調整前当期純利益	356	253	40.4
税金費用他	146	101	
	13.8	10.0	
当期純利益	209	151	37.9



平成17年度 第3四半期決算：経営成績の主なポイント（連結）

- **売上高** + 0.1%
 - 新製品「アベロックス」、「フィニボックス」や、主力品「フロモックス」、「クラリチン」などが寄与するも、カプセル事業の売却があり、連結対象から外れたため、微増収(単体は2.2%の増収)。
- **営業利益** + 8.3%
 - ロイヤルティ収入の増加、原価低減努力により増益。
- **経常利益** + 14.1%
 - 受取配当金の増加、社債償還による支払利息の減少及び為替差益の増加により増益。
- **当期純利益** + 37.9%
 - カプセル事業の売却による特別利益の計上により大幅増益。



平成17年度 第3四半期決算：四半期推移（連結）

(単位:億円)

	16年度				17年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
売上高	477	476	565	475	484	484	550
売上原価	39.6% 189	37.6% 179	36.0% 203	35.5% 169	37.0% 179	36.9% 178	33.1% 182
売上総利益	288	297	361	306	305	305	369
販売費及び一般管理費	49.5% 236	51.6% 245	42.1% 238	51.8% 246	48.7% 236	52.3% 253	44.3% 244
うち 研究開発費	77	80	75	62	69	83	81
営業利益	10.9% 51	10.8% 52	21.9% 123	12.7% 61	14.3% 69	10.8% 52	22.6% 124
経常利益	10.9% 51	10.5% 50	21.0% 119	12.1% 58	14.6% 71	10.9% 52	23.3% 128
当期純利益	50	31	70	38	55	28	126



平成17年度 業績予測（連結・単体）

(単位: 億円)

	17年度 予 測	16年度 実 績	対前年 UP率%
< 連結 >			
売 上 高	2,000	1,993	0.3
営 業 利 益	293	287	2.0
経 常 利 益	285	278	2.5
当 期 純 利 益	225	189	18.8
< 単体 >			
売 上 高	1,870	1,807	3.5
営 業 利 益	265	245	7.8
経 常 利 益	278	254	9.0
当 期 純 利 益	265	177	49.0



平成17年度 セグメント別売上高予測（連結）

（単位：億円）

	17年度 予 測 (17年11月発表)	17年4-12月 実 績	対予測 進捗率%	17年度 修正予測
医療用医薬品	1,710	1,292	75.6	1,715
フロモックス	343	259	75.4	343
フルマリン	165	131	79.4	165
塩酸バンコマイシン	157	126	80.5	157
イムネース	105	86	82.1	105
クラリチン	103	52	50.3	93
オキシコンチン	47	34	71.3	47
MSコンチン	40	29	72.7	40
フィニバックス	10	4	39.0	10
アベロックス	10	16	158.1	25
一般用医薬品	66	51	77.0	66
診断薬	33	26	78.4	33
工業所有権等使用料収入	100	65	64.8	95
クレストール	85	54	63.0	80
カプセル	61	61	100.0	61
不動産賃貸・その他	30	25	82.3	30
合計	2,000	1,518	75.9	2,000

医療用医薬品の製品別売上高は単体売上高



平成17年度 営業利益予測（連結）

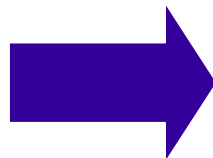
(単位: 億円)

	17年度 予 測	17年4-12月 実 績	対予測 進捗率%
売 上 高	2,000	1,518	75.9
	34.8	35.5	
売 上 原 価	695	539	77.7
	50.6	48.3	
販売費・一般管理費	1,012	733	72.5
販売・管理費	672	499	74.3
研究開発費	340	233	68.8
	14.7	16.2	
営 業 利 益	293	245	83.9



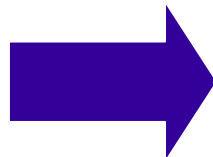
パイプラインの進捗状況 (05年11月以降)

アベロックス®



05年12月上市

NS75A
(酢酸セトロレリクス)



06年1月第一部会通過

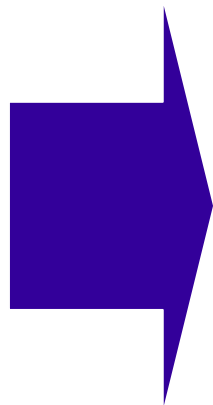
S-2367

S-5751

S-013420

LY-248686

(糖尿病性神経因性疼痛)



PhII 進捗は良好



パイプラインの強化

- **Purdue社との共同研究/共同販売契約締結**
 - Purdue社はMSコンチン、オキシコンチンの開発会社で塩野義とはこれまでも良好な関係
 - 重点領域の1つである「疼痛」領域の強化
 - 2006年1月に共同研究開始
 - 3プログラムを設定し新規疼痛治療薬を研究開発
 - 最初のINDは2007年の予定
 - 将来的には全世界で共同販売



本資料のお問合せ先

塩野義製薬株式会社 広報室

本社

TEL:06 - 6209 - 7885

FAX:06 - 6229 - 9596

東京

TEL:03 - 3406 - 8164

FAX:03 - 3406 - 8099

本資料の将来の予測等に関する各数値は、発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づくものであり、競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。